

平成19年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会

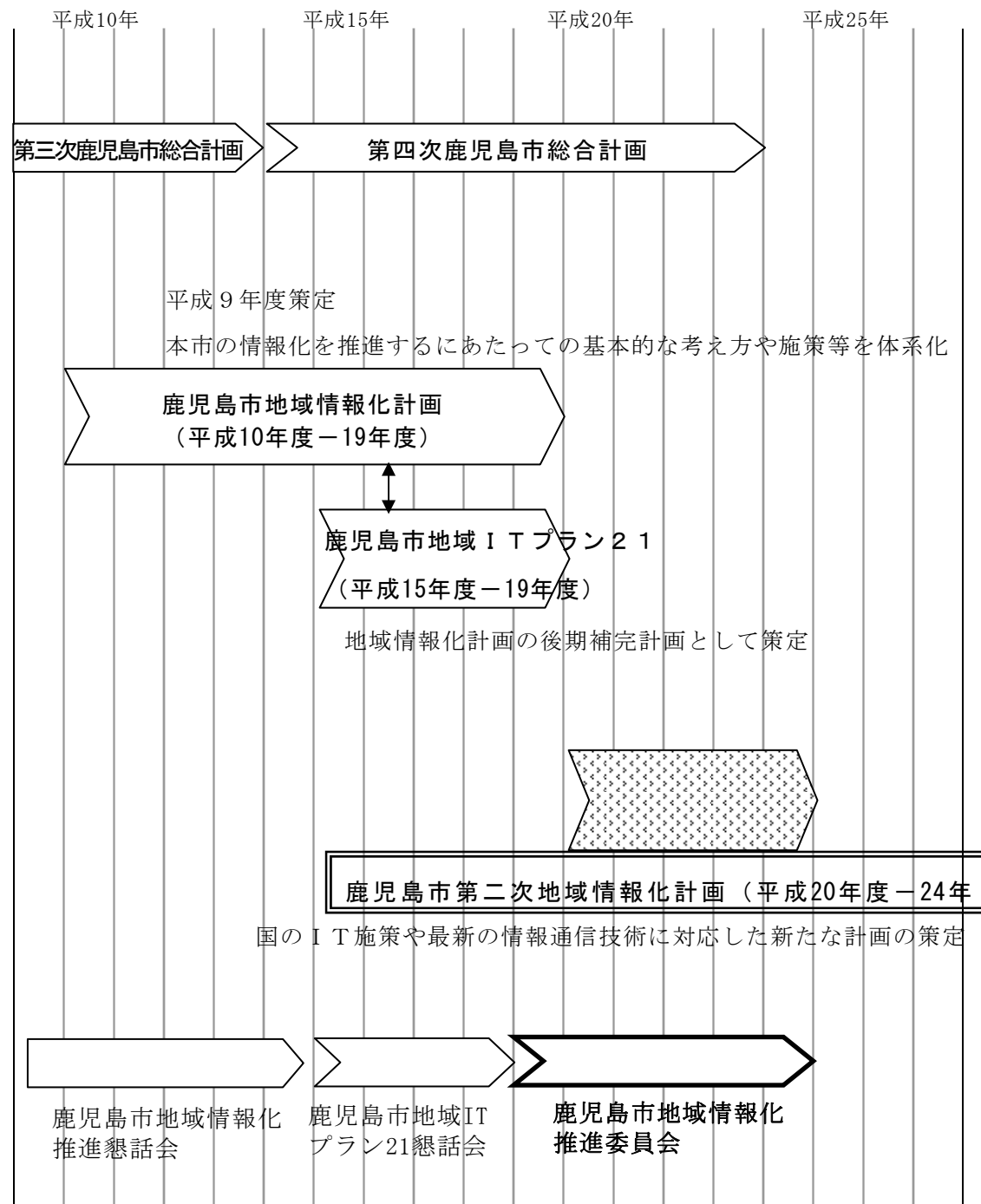
平成19年9月4日(火) 10:00-11:30

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

会 次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員長及び副委員長選出
- 5 地域情報化計画及び本委員会の位置付け ----- P 1
- 6 報告・協議
 - (1) 第二次鹿児島市地域情報化計画の策定
策定体制及び策定スケジュール ----- P 2
 - (2) 「鹿児島市地域ITプラン21」の総括
 - ① 進捗状況等(担当課評価) ----- P 3～7
 - ② 鹿児島市地域ITプラン21懇話会委員の主な意見 ---- P 8～9
 - (3) 情報化の現状
 - ① 国の動向 ----- P 10
 - ② 本市の現状(市民アンケート) ----- 別冊資料
 - (4) 意見交換
- 7 閉 会

地域情報化計画の位置付け



鹿児島市地域情報化推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 本市の地域情報化を総括的に推進するに当たり、学識経験者、市民等の意見を反映させるため、鹿児島市地域情報化推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 鹿児島市地域情報化計画の策定に係る意見及び提言に関すること。
- (2) 鹿児島市地域情報化計画の進行状況の確認及び推進のための方策の検討に関すること。
- (3) その他地域情報化の推進に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、13人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる区分ごとに当該各号に掲げる人数の者を市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者、関係行政機関の職員及び関係団体の職員 11人以内
- (2) 市長が行う公募に応じた者 2人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から2年間とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長それぞれ1人を置き、委員の互選によりこれらを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、委員会の会議（以下「会議」という。）の議長を務める。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が必要に応じて招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画部情報政策課において処理する。

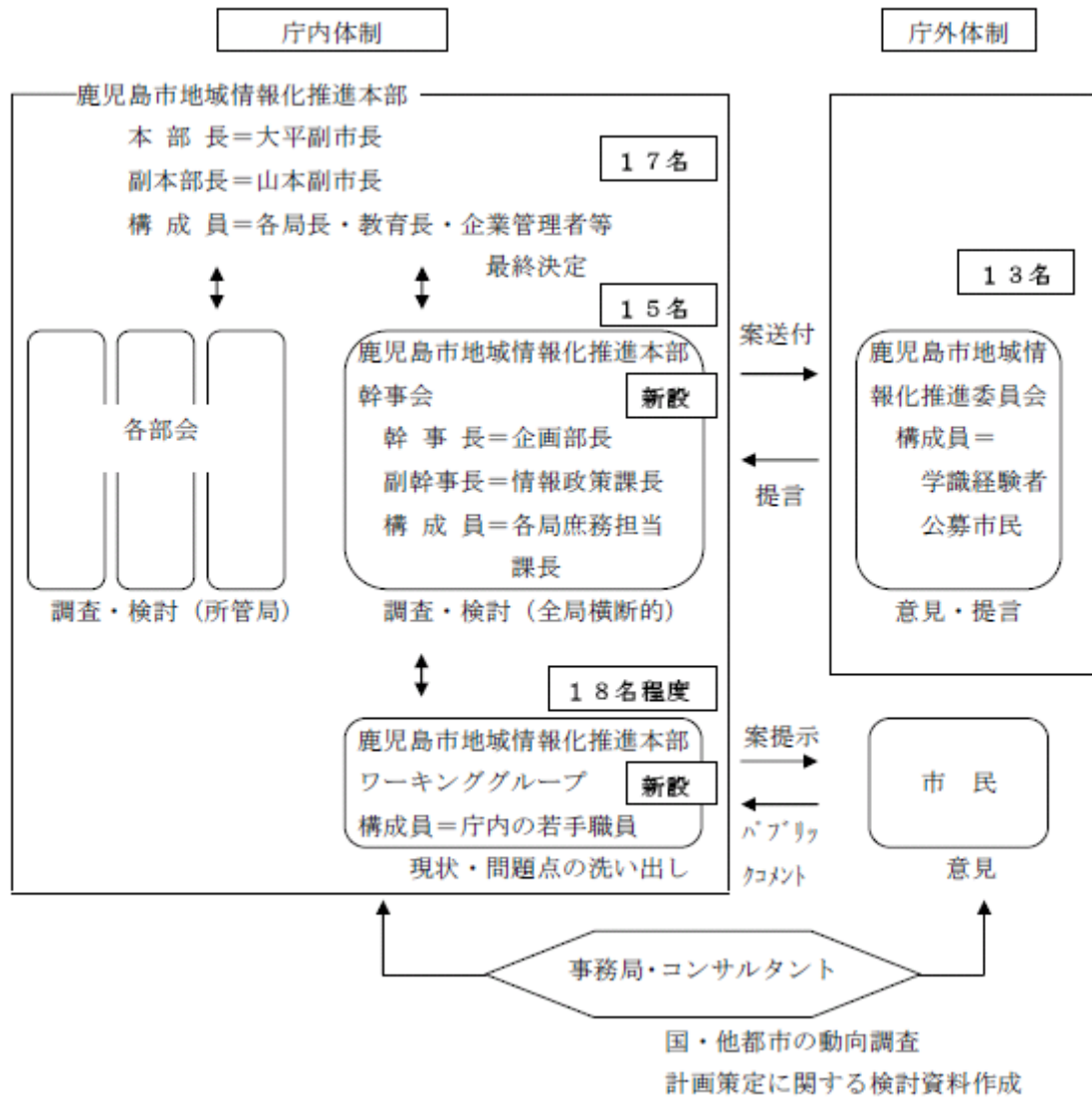
(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

略す

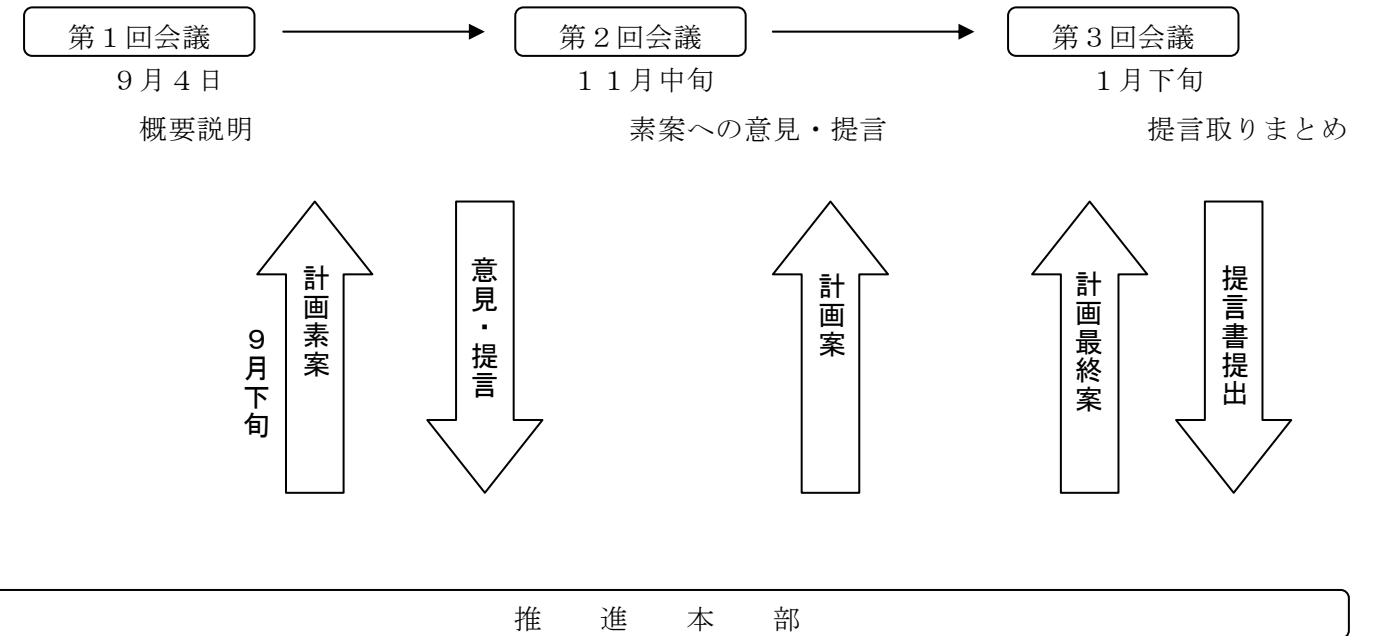
第二次鹿児島市地域情報化計画策定体制及びスケジュール



第二次鹿児島市地域情報化計画策定 全体スケジュール

項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ 推進本部	会議開催					会議開催		会議開催
■ 推進本部幹事会	会議開催	素案策定	素案各局検討	案策定	会議開催	会議開催		計画決定
■ 推進本部ワーキンググループ		会議開催	会議開催	会議開催				
■ 推進委員会		会議開催	素案への意見・提言	会議開催		会議開催	最終案報告	
■ パブリックコメント				議会報告	パブリックコメント実施	議会報告	議会報告	結果報告

地域情報化推進委員会の役割・スケジュール



鹿児島市地域ITプラン21の総括

0 取組みできず。計画から外す。
 1 取組みできず。再度計画にのせる。
 2 軌道にのらず。計画から外す。
 3 軌道にのらず。引続き計画にのせる。
 4 一定の成果あり。拡張のため引続き計画にのせる。
 5 一定の成果あり。次期計画にのせる必要なし

0 構築中・準備中
 1 ほとんど活用・利用されていない。
 2 あまり活用・利用されていない。
 3 活用・利用されているが改善の余地あり
 4 一定の活用・利用はされている。
 5 非常に活用・利用されている。

ビジョン 展開方策	具体的施策	所管	達成度	活用度	成果	課題	稼働時期 開発経費 運用経費（直近の年度）
★地域ITプラン21（平成15～19年度）							
◎健やかに暮らせる都市							
○医療・保健・福祉・救急							
1 健康や福祉に関する情報提供ポータルサイトの構築	・健康づくり推進市民会議ホームページの運営及び健康情報の提供	健推	4	4	市民会議のホームページ（ http://www.city.kagoshima.lg.jp/health/index.html ）として健康づくりに関する情報の提供や、会議団体の情報の共有が図られた。	なし	
2 医療・保健・福祉・救急分野の連携	・福祉総合情報システムの運用	保一	5	4	生活保護、保育所、児童クラブ、障害者福祉、高齢者福祉（一部）の各業務において、事務の効率化及び各業務間の連携、制度改正への迅速な対応などが図られた。		H16/10 187,866千円 59,422千円（H18）
	・敬老パス交付事業	高福	5	4	敬老パスにICカード導入		H18/03 120,120千円 446,760千円（H18）
	・友愛パス交付事業	障福	5	4	友愛パスにICカード導入	特になし	H18/03 - 1,035千円（H18）
	・精神障害者福祉システムの運用	保予	4	5	精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療費（精神通院）、障害福祉サービス受給情報の管理		H18/04 23,737千円 364千円（H18）
	・児童医療電算システムの開発	こ福	5	5	児童医療電算システム（乳幼児医療・母子医療）	特になし	H19/04 22,395千円 -
	・畜犬管理システムの運用	生衛	5	5	畜犬管理システム（畜犬及び個人情報の管理）	特になし	H02/ - 13千円（H18）
	・鹿児島市食品等監視指導システムの運用	生衛	4	5	許可台帳等の管理、必要帳票の出力、市民等からの問い合わせへの迅速な対応	保健所、南部保健センター間の回線速度	H18/04 7,088千円 284千円（H18）
3 高齢者・障害者の積極的な社会参加とその支援	・保健福祉総合相談案内窓口での聴覚障害者相談対応	健福	5	5	保健福祉総合相談案内窓口にパソコンを設置し、メールによる聴覚障害者からの問い合わせに迅速に応じる。	特になし	H18/5 - 157,907円（H18）
◎安全で安心して暮らせる都市							
○防災							
4 防災情報システムの充実	・災害、気象及び避難勧告等の情報配信（安心ネットワーク119）の実施	消防 総務	5	5	平成18年度構築 2,818人登録 727回配信 (H19.3末現在)	市民のニーズに合わせた配信の工夫	H18/8/30 6,720千円
○環境							
5 環境に関する情報システム	・鹿児島市環境未来館（仮称）環境情報システムの整備（環境未来館を拠点として環境情報を収集し、提供する情報システムの整備）	環協	-	0	20年度の環境未来館の開館に合わせて、環境情報システムを構築中	本システムを構築するにあたり、具現するには今後も関係団体等との協議が必要である。	H20/8（予定） 14,175千円 -
◎便利で快適な市民生活がおくれる都市							
○電子市役所の構築							

鹿児島市地域ITプラン21の総括

0 取組みできず。計画から外す。
 1 取組みできず。再度計画にのせる。
 2 軌道にのらず。計画から外す。
 3 軌道にのらず。引続き計画にのせる。
 4 一定の成果あり。拡張のため引続き計画にのせる。
 5 一定の成果あり。次期計画にのせる必要なし

0 構築中・準備中
 1 ほとんど活用・利用されていない。
 2 あまり活用・利用されていない。
 3 活用・利用されているが改善の余地あり
 4 一定の活用・利用はされている。
 5 非常に活用・利用されている。

ビジョン 展開方策	具体的施策	所管	達成度	活用度	成果	課題	稼働時期 開発経費 運用経費 (直近の年度)	
6	申請・届出等手続のオンライン化	・鹿児島県電子申請共同運営システム (鹿児島e申請)	情政	3	2	利用手続数 121 (H18/11現在)		H16/11
7	住民票等手続のネットワーク化やICカードの活用	・自動交付機の導入	情政	4	4	利用総数 358件 (H18)	利用件数は年々増えている。	H16/11
8	ホームページの充実と積極的な活用	・鹿児島市ホームページの運用	情政	5	5	ホームページの全面リニューアル実施 (H15/04) 市町村合併に伴う一部変更 (H16/11)	アクセス数は年々増えている。	5,324千円 (H15/04) 2,222千円 (H16/11)
9	電子調達システム	・県・県内市町村共同開発による電子入札システム	契約	5	0	県及び県下市町村と共同でシステム開発を行った。 平成20年度本稼働に向けシステムの実証確認試験、試行を行う。		開発負担金 H18 32,673千円 H19 16,116千円 H20稼働
10	統合型地理情報システム	・統合型GISの構築・運用	情政	4	3	庁内システム構築(H18.12) 住宅地区の全庁共有 市道道路網図は、統合型GISのレイヤとしてH19.3搭載済	庁内システム・公開システム(H20構築予定)の個別空間データ整備	H18/12 16,884千円 8,644千円(H19)
11	農用地区域 農地台帳システム	・農用地区域 農地台帳システム	農総	4	3	H15年度に、旧市内の農用地の管理を行うシステムを構築	このデータを、新たに19年度に旧4町地域と桜島地域の農用地の管理を行うシステムを構築し統合予定。遊休化している農用地の情報の農業者への提供が可能	6,510千円(H15) 17,300千円(H19)
12	法定外公共物管理システム	・法定外公共物管理システム	農整	5	4	国から譲与を受けた法定外公共物の情報の共有化・維持管理の効率化		H17/04
13	文書管理システム	・文書管理システム	情政	5	4	庁内の情報共有化	電子決裁率の低迷 習熟度に差 (要研修)	H16/04/01 31,994千円 12,166千円(H18)
14	行政評価システム	・行政評価システム	行管	5	4	行政評価情報を管理		H16/04 3,315千円
15	鹿児島市コールセンター (仮称)	・鹿児島市コールセンター (仮称)の構築及び運営業務の委託	市セ		0			H20/01 32,381千円(H19) 7,619千円(H19)3ヶ月分
◎豊かな心と個性をはぐくむ都市								
○学校教育								
16	学校における情報教育の充実	・学習用コンテンツの配信 (KEI ネット) ・学校HP作成機能にブログ風機能追加し、情報発信しやすい環境整備 (以下に変更)	教委 学情	4	5	自作コンテンツ配信総数 2,057 コンテンツアクセス数(H18) 911,447	学習用コンテンツの継続的な開発・蓄積と配信	H14/4 5,985千円 (H18)
			教委 学情	5	4	日々の学習情報を学校ホームページに掲載できるようになり、登録する教職員や閲覧者から好評である。	学校HPを活用した計画的な情報発信を継続する。	H17/

鹿児島市地域ITプラン21の総括

0 取組みできず。計画から外す。
 1 取組みできず。再度計画にのせる。
 2 軌道にのらず。計画から外す。
 3 軌道にのらず。引続き計画にのせる。
 4 一定の成果あり。拡張のため引続き計画にのせる。
 5 一定の成果あり。次期計画にのせる必要なし

0 構築中・準備中
 1 ほとんど活用・利用されていない。
 2 あまり活用・利用されていない。
 3 活用・利用されているが改善の余地あり
 4 一定の活用・利用はされている。
 5 非常に活用・利用されている。

ビジョン 展開方策	具体的施策	所管	達成度	活用度	成果	課題	稼働時期 開発経費 運用経費（直近の年度）
	・学校ホームページの運用(追加)	教委 学情	4	4	定期的な学校ホームページ更新を各学校が行えるようになり、内容も充実してきている。	学校HPを活用した計画的な情報発信を継続する。	H10/
	・情報教育講師派遣事業	教委 学情	5	4	機器の準備や技術面の指導を支援したことにより、教師が負担を感じることなく授業を進めることができた。	平成18年度で本事業終了	H13/4 1,241千円 (H18)
○生涯学習							
17 生涯学習へのITの活用とその支援	・IT関連講座開催	教委 生涯	4	4	77講座(H18)	講座とITとの関連した講座の新設	
	・情報ボランティアの育成	教委 生涯	4	4	会員数100名	講座へのボランティア活動参加が減少	
	・キュートピアネット携帯サイト開設及びシステム機器更新	教委 生涯	4	5	公共施設の予約・案内が携帯から可能	使いやすい、見やすいホームページの構築	
18 図書館情報システムの充実	・図書館蔵書検索	教委 図書	4	5	パソコン・携帯から蔵書検索・予約が可能		H16/01
	・図書館電算システムの導入	教委 図書	5	5	市町村合併に伴う旧5町公民館図書館に電算システム導入		
○歴史・文化							
19 歴史・文化資産のデジタル化の推進	・かごしまデジタルミュージアム(HP)の充実	教委 文化	4	4	貴重な歴史・文化遺産、市内の史跡・文化財や伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化しインターネットで発信	リニューアル時期の検討	H14/4 23,579千円 28,160千円 (H18)
◎多彩な交流が広がり、活力あふれる都市							
○産業							
20 地域産業の情報化の推進	・情報化セミナーの開催	企振	4	3	情報化セミナー5回開催 (H18)	参加者増加のための広報手段の検討	H13 1,087千円 (H18)
	・鹿児島市インキュベーション・マネージャーの配置	企振	4	3	情報関連産業の育成支援の拠点施設「ソフトプラザかごしま」の入居企業に対し、経営面・販路面のアドバイス等、成長のための支援を行う。	支援体制の充実 ソフト面での支援充実	H18 2,888千円 (H18)
22 SOHO事業者の育成支援	・ソーホーかごしまの設置	企振	4	3	H16.12 施設供用開始	レンタルブースの利用促進など施設の活性化	H16 187,405千円 19,449千円 (H18)
	・SOHO支援イベント開催	企振	4	4	18年度2回開催。のべ173名参加講演、パネルディスカッション、交流会の開催など	SOHO事業者と創業希望者との交流の促進	H15 827千円 (H18)
	・鹿児島市インキュベーション・マネージャーの配置	企振	4	3	SOHO事業者や市内の新規創業者などに対し、経営面・販路面のアドバイス等、成長のための支援を行う。	支援体制の充実 ソフト面での支援充実	H18 2,888千円 (H18)

鹿児島市地域ITプラン21の総括

0 取組みできず。計画から外す。
 1 取組みできず。再度計画にのせる。
 2 軌道にのらず。計画から外す。
 3 軌道にのらず。引続き計画にのせる。
 4 一定の成果あり。拡張のため引続き計画にのせる。
 5 一定の成果あり。次期計画にのせる必要なし

0 構築中・準備中
 1 ほとんど活用・利用されていない。
 2 あまり活用・利用されていない。
 3 活用・利用されているが改善の余地あり
 4 一定の活用・利用はされている。
 5 非常に活用・利用されている。

ビジョン 展開方策	具体的施策	所管	達成度	活用度	成果	課題	稼働時期 開発経費 運用経費（直近の年度）
○観光・イベント・コンベンション							
23	ITを活用したきめ細やかな観光情報提供サービスの充実	観企	4	3	H19.4 設置	ホームページ立上げ	H19/04
24	「かごしまITウィーク（仮称）」の開催	情政	3	0	(H20実施予定)	イベントの内容・効果・継続期間の検討	H20/11予定 650千円(H19) 2,000千円(H20～)
○交流							
25	ITを活用した情報発信・交流の促進	情政	1	0		経費、運営方法等を要検討	
	・地域ポータルサイト構築に関する調査	情政	5	4	みなと大通り別館1Fに設置 インターネットかんたん塾の開催	リピーターの増加に伴う存続の目的・意義を再検討	H16/11 2,358千円 8,158千円(H19)
	・IT体験コーナー設置	情政	5	4	9支所ロビーでの議会中継、市政広報番組の放送	H19開始のインターネット議会中継との線引き	H17/09 8,731千円 3,200千円(H18,回線増速費)
26	無線LANシステムを活用した交流スペース設置の支援	情政	5	4	IT体験コーナーで無線LAN構築	対象は市外の人がメイン	H16/11 経費は体験コーナーに含む
27	交通カードシステムの導入	交通総企	5	5	ICカード乗車システム導入	付加機能の検討	H17/04 217,922千円 1,855千円(H18)
	・ICカード乗車システムの導入	船舶	5	5	交通局の既存システムに参加する形で桜島フェリーICカード乗車システムを導入した。	敬老パスによる決済	H19/04 40,982千円 507千円(H19)
28	国際交流、地域間交流促進のためのインターネット活用	国交	4	4			
◎市民がまちづくりへ自発的に参画する都市							
○全分野							
29	インターネットによる市民コミュニティの形成	市セ		0	システム化検討		
30	ITを活用したパブリックコメントの実施	市推	5	4	市HP内に「市民参画の窓」を設置 メールフォーム使用を可能とした。	特になし	H16/04 279千円 - (H18)
31	男女共同参画活動支援ネットワークの形成	男女推	4	4	男女共同参画センターの主催講座（15講座82コマ）等に関するHPによる情報提供	講座以外のセンター事業の広報強化	稼働時期：平成13年

鹿児島市地域ITプラン21の総括

- 0 取組みできず。計画から外す。
- 1 取組みできず。再度計画にのせる。
- 2 軌道にのらず。計画から外す。
- 3 軌道にのらず。引続き計画にのせる。
- 4 一定の成果あり。拡張のため引続き計画にのせる。
- 5 一定の成果あり。次期計画にのせる必要なし

- 0 構築中・準備中
- 1 ほとんど活用・利用されていない。
- 2 あまり活用・利用されていない。
- 3 活用・利用されているが改善の余地あり
- 4 一定の活用・利用はされている。
- 5 非常に活用・利用されている。

ビジョン 展開方策	具体的施策	所管	達成度	活用度	成果	課題	稼働時期 開発経費 運用経費 (直近の年度)
32 市民が自発的な市政参画を支援するシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールによる「わたしの提言」の受付 ・ホームページによる情報提供 	市セ	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールによる提言数 101通 (H18) ・市HP内「わたしの提言」コーナーにおけるこれまでに寄せられた提言等の情報提供 		H18/05 - (H18) - (H18)

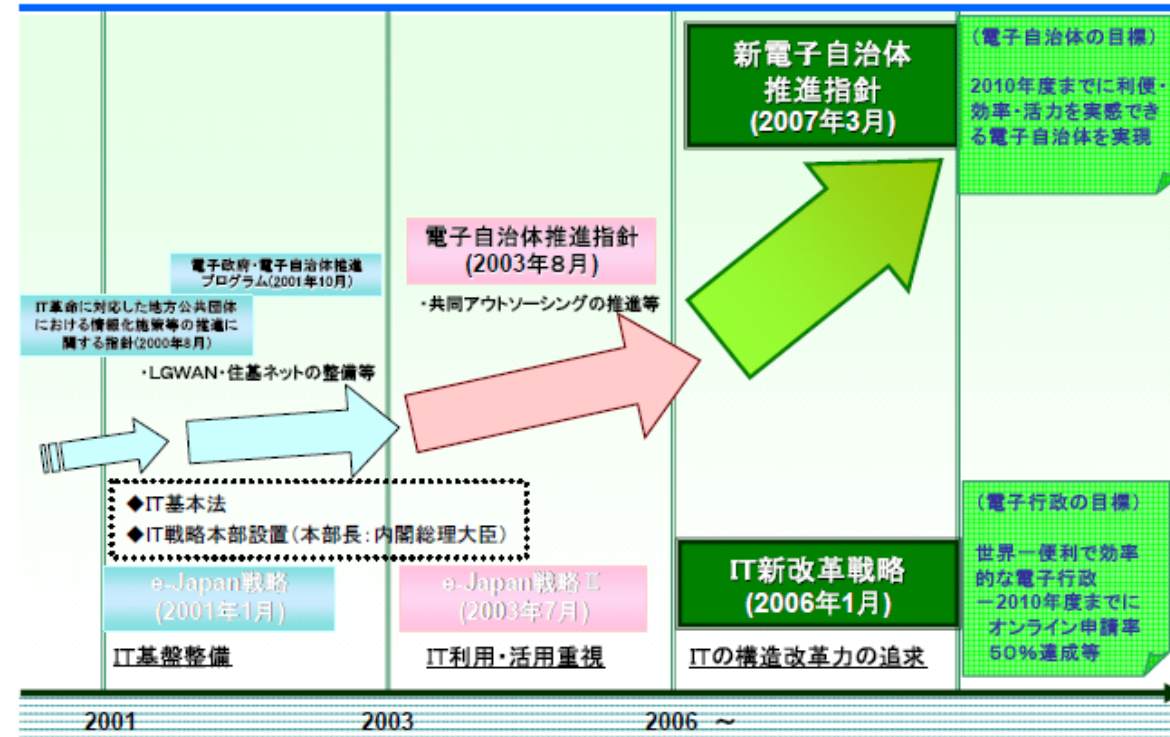
「鹿児島市地域 IT プラン 21」懇話会 委員の主な意見（平成 19 年 3 月 28 日開催）

方策		意見
2	医療・保健・福祉・救急分野の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● J T跡地に市立病院ができるが、先進的な取り組みを行うのか。 ● 電子カルテは、一部地域毎に広がっているが、全国的標準に広がらないのはなぜか。 ● 電子カルテは統一的な標準フォーマットがない。 ● <u>弱者向けの福祉システムは、導入のメリット・効果についての進捗管理が必要である。</u>
3	高齢者・障害者の積極的な社会参加とその支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 周り的高齢者が集まり、インターネットを勉強する機会があり、<u>高齢者でも勉強していかないといけないと思う。</u> ● 在宅介護支援システム設置事業、徘徊高齢者家族支援事業について詳しく説明してほしい。
4	防災情報システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>弱者向けの防災のシステムは、導入のメリット・効果についての進捗管理が必要である。</u>
9	住民票等手続のネットワーク化や IC カードの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 住基ネットは、技術的に問題になって裁判が起こされている。自動交付機による証明書発行とは何か。 ● 技術的に住民基本台帳カードがしっかりしていれば、自宅で証明書を発行してよいか。 ● 鹿児島市は住民基本台帳カードのコマーシャルが足りない。カードを持っていてお得な情報はるか。 ● <u>東京ではカードで住民票が取れるところがある。</u> ● 窓口で住民基本台帳カードを提示して住民票を申請したら、申請書を書くように言われた。 ● E T C、E d y が伸びてきており、住基ネットがいつの間にか消え去っている。 ● 住基ネットがしっかりしていれば、学生証にも使える。 ● 電子健康情報を行い、ICチップを埋め込んだカードを利用して、今服用している薬、最新の検査データ等を個人が持てば、投薬の重複が防げる。 ● 住民基本台帳番号がしっかりしていれば、医療情報の共有ができる。
12	ホームページの充実と積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民への広報にもっと力を入れてほしい。特に市民のひろばの情報は、<u>ホームページにも載っていると聞いていたが、それが見えてこないし、このことを市民も知らない。</u> ● 転勤で鹿児島に来た方が鹿児島市のホームページを見たが全然分からないということだった。こういう意見があることを実際の窓口で聞いてほしい。 ● 市民のひろばのページはPDFファイルはおまけでいいので、記事のページを主にしてほしい。 ● 九州ウェブ大賞に鹿児島県からどこも入ってなかった。 ● 医師会のホームページはリニューアルを行いアクセス数が伸びている。休日在宅医も地図をリンクさせる等分かりやすくしている。更新は手作業で行うため費用はかからない。 ● 鹿児島市のホームページが分かりにくいのは、それぞれの課がページを増やしていき、市役所全体を見るホームページを作ってしまったためではないか。市民のひろばを中心とした情報発信のトレースになっていない。今度作る時は、<u>利用者毎に見れるようなページがよいのではないか。</u>
14	生涯学習への IT の活用とその支援	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>キニートピアネットの携帯サイトは身近で便利である。</u>
22	IT を活用した情報発信・交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 八代市が SNS を 2 年前から行っている。市が宣伝するのではなく、知っている人の口コミで広がっている。SNS の面白さとしては、IT のグローバルさではなく、ローカルな面である。鹿児島市も検討してよいのではないか。 ● 新聞離れ・活字離れと言われるが、新聞を読む人ほどネットを使っている。またホームページに設置した掲示板は、管理者側でどういう管理をしていくかに多くの労力を使う。掲示板の内容については管理者に責任が生じる。 ● 新聞記事のデータベース利用について市教委に利用の相談をしたが予算の問題で難しかった。県内の大学、短大、図書館にアンケートを行っても、7、8 割方利用の検討まではいくが、現実的な受け入れは難しい状況である。 ● グローバルなものに拒否感があるようで、逆に SNS はいいのではないか。 ● IT 利用者が鹿児島では少ないのはブロードバンド未整備地域が多いためではなく、県民性ではないか。

24	交通カードシステムの導入	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>ラピカは身近で便利である。</u>
25	国際交流・地域間	<ul style="list-style-type: none"> ● 10年後、20年後には数字上は高齢者もほとんどインターネットができるようになり、回覧板がインターネットで見れるようになり、紙がなくなるかもしれないが、どう考えるか。 ● 国際交流について、青年会議所や他団体でも国際交流事業を行っているので、市の国際交流事業以外のものも紹介してほしい。 ● 鹿児島は地域コミュニティがしっかりしているので、SNSがなくてもまだ大丈夫ではないか。
全般		<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体は「これを行った」という進捗管理はよくやっているが、「どのくらい普及しているか」といった効果については触れられていない。この視点で議論できればいいのではないか。 ● この方策にあるシステムについて、コストを含めて公表するとどうなるか。市民向けサービスを情報化した場合に、コストがこれだけかかったとすると納得されるか分からない。費用対効果だけでは計れない。

国の動向（ITに関する戦略）

我が国のIT戦略と電子自治体推進指針の展開



IT新改革戦略（IT戦略本部）

新電子自治体推進指針（総務省）

